就職活動応援特集

決意ひとつで技術者に

クリアウォーターOSAKA
西部設備管理課
松田　優翔さん

まっらめ今がをこにおりてもるように見える業務でも、実際に自分が担当してみると戸惑うこともあります。運転維持管理においては、その場の状況に応じて判断が迫られることも多く、日々の経験を通して学び続ける必要があると感じています。今後も資格の取得をはじめ自己研鑽にも励みながら、判断力や対応力を養っていきたいと考えています。

■誰もが技術者を目指せる環境

下水に関わる仕事と聞くと抵抗がある方もいるのではないかと思います。しかし、この仕事は、今後も確実に必要とされ続けるものであり、その重要性が変わることはありません。多くの人の生活を支える仕事には大きなやりがいを感じると思います。

また、私のように専門知識がない状態で入社しても、基本的にチームで取り組む仕事が中心になるので一人で抱え込むようなことはありません。意欲さえあれば一から技術者として成長できるような環境が整っているので、少しでも興味を持たれた場合は、当社を選択肢の一つとして考えてもらえると嬉しいです。

■市民生活を陰ながら支える

クリアウォーターOSAKAは大阪市内を中心に下水処理場や抽水所（ポンプ場）の運転維持管理、管路の点検・管理などを担う、大阪市100%出資の企業です。私は、学生時代に法学を学び、前職でも水とは無関係の仕事に就いていましたが、市民の生活基盤であるインフラを陰ながら支える仕事に魅力を感じ、入社に至りました。今年で2年目になります。

現在は、大阪市の津守下水処理場で機械設備や電気設備の点検、運転維持管理業務を担当しています。大雨が降ると処理場に流入する下水量が増加し、それに応じた適切な運転操作が求められます。大雨注意報や警報が発令された際には、緊急で招集がかかることもあるため、日頃から天気を気にしながら生活するようになりました。

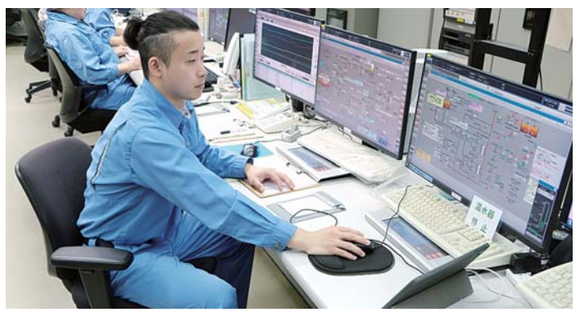
■経験と知識の積み重ね

日々の業務は主に4人1班の体制で行っています。まだ経験が浅いということもあり、上司や先輩への報告・連絡・相談は徹底するように心がけています。業務を行う上でわからないことがあれば班の中でコミュニケーションを取りながら、少しずつ知識を深めているところです。

下水処理と一口に言っても水質管理やポンプ場の操作など、業務は多岐にわたります。また、自然相手の仕事であることから、全てをマニュアル化することは難しく、経験や専門知識が問われることも少なくありません。先輩たちが難なくこなしていることは非常に刺激的でした。

■新たな共同研究

現在は日本下水道事業団や特定の自治体との共同研究などに取り組んでいます。技術の原理自体は海外で開発されたものもありますが、それが日本の処理場で効果を発揮するかどうかの研究や検証を重ねています。これまで市場になかった技術が込められたものですが、挑戦を通じて自分の可能性を広げられるという意味では、就活にも通じるものがあると私は思います。企業選びには迷うこともあると思いますが、あくまで自分の軸を大事にしつつ、自分の可能性を広げられるような環境を選べるように願っています。



若手・中堅社員が語る

チャレンジへの懐の深さ

栗本鐵工所
東北支店　東部営業部
安井　悠晴さん

■大学の授業が就活の軸に

もともと社会インフラに関心があり、大学時代に水道や電気といった日本の社会インフラ全般をテーマに扱う授業を受講したことがありました。全15回の授業のうち水道をテーマにした回では、日本の水道インフラにおいて、管路や施設の老朽化が進行していること、担い手が不足していることなどの現状を知り、とても興味深く思いました。

この授業がきっかけとなり、その後の就職活動では、自分の軸として「縁の下の力持ちとして、生活の根底を支えたい」「やりがいのある大きな仕事をしたい」という二つを定めました。インフラ系を中心に就活を進める中で、当社はダクタイル鉄管を中心とした水道インフラを主に取り扱っており、水道業界が直面する管路・施設の維持管理の課題、人手不足などの課題に向き合いながら、社会の基盤を守る仕事ができる点に魅力を感じました。

■地道な関係構築から

入社3年目となる今年4月から、東北支店に転勤となりました。営業活動はルート営業がほとんどで、エンドユーザーである水道事業体を訪問し、自社製品や特殊工法等の営業を行います。製品の販売は専門商社を介して行うため、普段の営業活動も専門商社と連携して行うことが多く、訪問先で得た業界の動向、顧客ニーズなどの有益な情報などはお互いに共有するようにしています。

営業だけでなく、漏水等の突発的な事故の対応も行います。今年1月に八潮市で発生した道路陥没事故の当時、私は埼玉県内の水道事業体を担当していましたので、発災直後から「復旧に向けて当社としてお力になれることはないか」を伺うために同市のお客さまのもとに通い、周囲の上下水道管への影響や事故原因などに関する情報収集に当たりました。

仕事をする上では、営業としてお客さまと信頼関係を築き、相手の立場に立った提案を心掛けています。われわれの仕事は事業規模や金額が大きく、営業活動の成果もすぐに出るものではありません。今すぐに結果は出なくとも、長い目で見ることが大事だと思います。お客さまとこまめなコミュニケーションを重ね、お話をよく聞き、その裏にある本質的なニーズを読み取ることを常に意識しております。

■自分の可能性を広げる挑戦を

当社のスローガン「Challenge to Change」（チャレンジの中にチェンジがある）は、変化を恐れず挑戦を続けるという意味が込められたものですが、挑戦を通じて自分の可能性を広げられるという意味では、就活にも通じるものがあると私は思います。企業選びには迷うこともあると思いますが、あくまで自分の軸を大事にしつつ、自分の可能性を広げられるような環境を選べるように願っています。

ニーズ読み取る信頼関係を

三機工業
環境システム事業部
営業部事業推進課課長補佐
松本　祐典さん

■学んだことを生かし

大学の研究室では、河川水中の化学物質の分析などを研究していました。就職活動時に研究室OBでもある三機工業社員の話を聞いて、水や空気、環境に技術で貢献できる企業であり、ここで学んだことを生かせる、と思ったのが入社の契機です。また、父が地元の市役所で下水道関係の仕事をしており、その背中を見ていたことが今にして思えば縁かもしれません。

今年で入社12年目になります。入社当時は主力製品であるエアロウイングを取り扱う部署に配属され、新製品の開発や納品後のアフターフォローなどを行っていました。その後、技術研究所（現R&Dセンター）では、国のB-DASHプロジェクトに採択された水処理技術の実証プラントを高知県内に建設し、プラントの立上げから、データ取りやメンテナンス、検証に携わりました。実際に下水を処理する現場で、責任ある仕事をやらせていただいたことは大きな経験になりました。出向中、山好きの上司に誘われて大菩薩嶺に登りましたが、以降プライベートでも登るほど登山が趣味になる楽しい思い出になりました。国の政策にも携わりつつ、より大きな流れの仕事に関われた3年間は非常に刺激的でした。

■新たな共同研究

現在は日本下水道事業団や特定の自治体との共同研究などに取り組んでいます。技術の原理自体は海外で開発されたものもありますが、それが日本の処理場で効果を発揮するかどうかの研究や検証を重ねています。これまで市場になかった技術が込められたものですが、挑戦を通じて自分の可能性を広げられるという意味では、就活にも通じるものがあると私は思います。企業選びには迷うこともあると思いますが、あくまで自分の軸を大事にしつつ、自分の可能性を広げられるような環境を選べるように願っています。

■創立100年、次の世紀へ

当社は本年、創立100周年を迎えました。昨年4月から初任給や従業員の給与水準を引き上げたことに加え、6月1日からは服装の自由化が始まり、従業員一人ひとりの個性と多様性を尊重する姿勢を打ち出しています。また当社の事業は上下水道のみならず、清掃工場や民間のプラント、さらには空調や衛生、電気、通信、搬送機械などさまざまな都市インフラを手掛け、幅広い分野で挑戦ができるのも特長です。

当社には、自分がやりたいと思ったことにチャレンジさせてくれる懐の深さがあります。私もさまざまな経験をさせていただきました。会社に入ってからも目的を見つけることができますし、それを可能にするのは先輩や上司のしっかりとした指導です。興味があればぜひ飛び込んできてほしいですね。

株式会社 極東技工コンサルタント　https://www.kgc21.co.jp
大阪本社　大阪府吹田市南金田2-3-26　ファー・イースト21
東京本社　東京都台東区上野1-10-12　商工中金・第一生命上野ビル
水&環境の総合コンサルタント
Integrated consultant of water and environment
2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門
社員は、会社の「財（たから）」です。
建設コンサルタント業界においては、他社に先駆け、年間を通じた週1回以上の定時退社および6月～10月には全社ノー残業マンスを実施し、残業時間の低減を実現するとともに、社員のワークライフバランスを大切にしています。
心身ともに健康で充実した社員が一丸となって、昭和49年（1974年）の創業以来、蓄積してきた技術力をさらに向上させ、地域に密着したサービスで水を育み、環境を守り、暮らしを豊かにする真のコンサルタントを目指しています。
Creating a brighter future together

大阪本社社屋

水と環境の Consulting & Software
NJS
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員
株式会社NJS
代表取締役社長　村上 雅亮
〒105-0023
東京都港区芝浦1-1-1　浜松町ビルディング14階
TEL：03-6324-4355(代表)　FAX：03-6324-4356
URL：https://www.njs.co.jp/